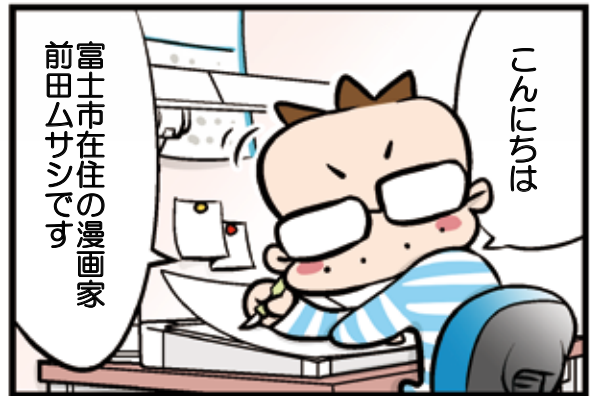


よくわかる!

富士市公共施設マネジメント基本方針



はじめまして。
今日は私がみんなに富士市の公共施設について説明するわ。しっかり聞いてね。



富士市公共施設マネジメント基本方針ってなに?

公共施設…公共建築物(学校、市営住宅など)、道路 etc

→ 高度経済成長期、バブル期に建設

一斉老朽化 → 更新が必要

国 地方に「公共施設等総合管理計画」の策定を要請

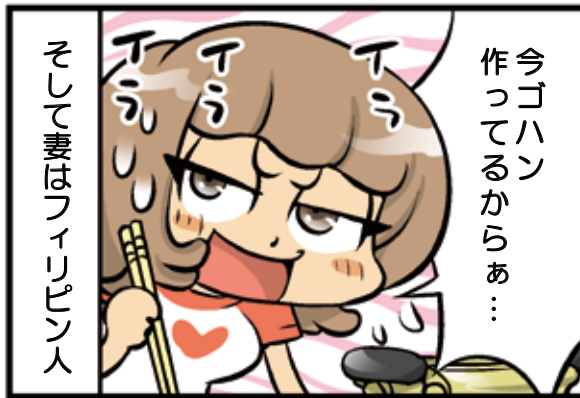
富士市 第2次行政経営プランで「公共施設マネジメントの推進」

→ 「富士市公共施設マネジメント基本方針」策定

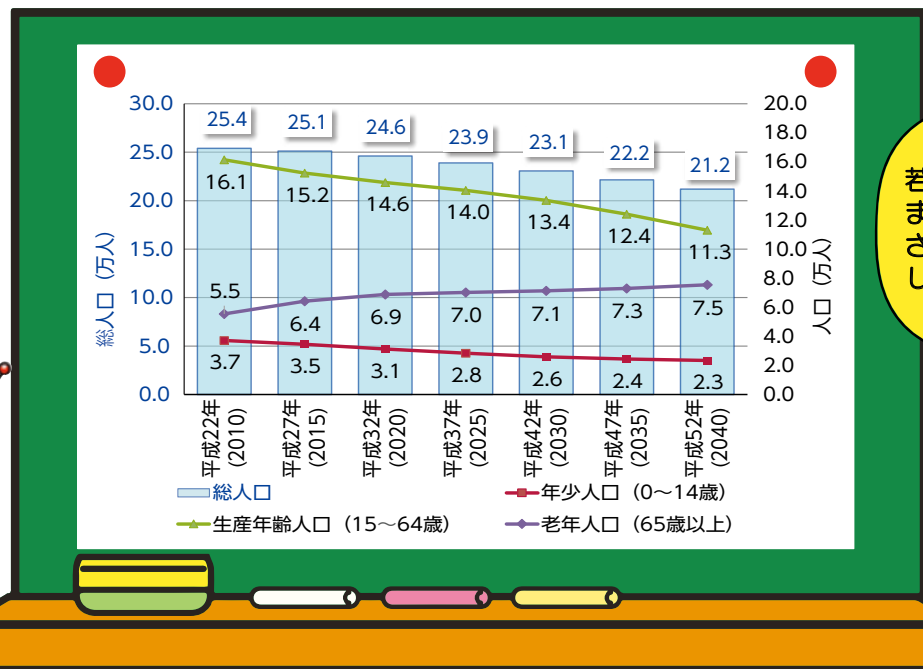
ここがだいじ!

公共施設の更新は全国的に問題となっており、老朽化が原因で中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故のような重大事故も発生しています。一方で、富士市の財政状況は年々厳しさを増しており、思うように施設の更新ができない状況にあります。このような中で「富士市公共施設マネジメント基本方針」は、人口減少社会に応じた公共施設のあり方を考える大事な方針です。

かわりゆくまちの景色（少子化問題）



富士市の人口は、25年後の平成52年にはおよそ4万人も減少すると予測されているわ。



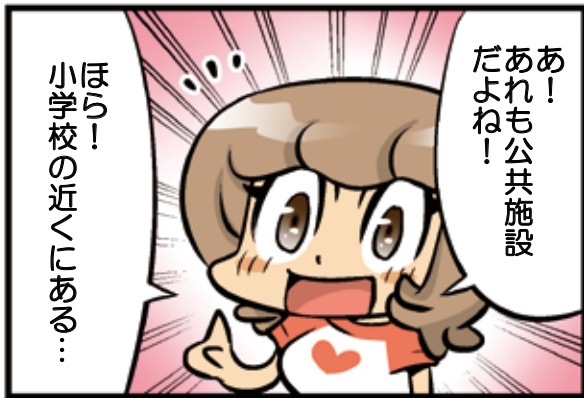
若い人が減ってますますさびしくなってしまうですね。

ここがだいじ!

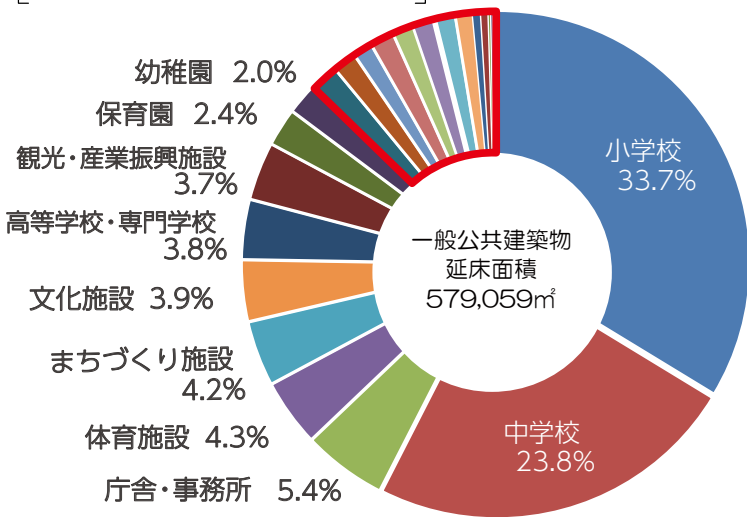
富士市の将来人口は緩やかに減少していくことが予想されています。このことから、生産年齢人口（15歳～64歳）の減少による市税収入の減少や、老年人口（65歳以上）の増加による社会保障経費の増加など、市の財政への影響が懸念されます。また、人口構成の変化により公共サービスに対するニーズも大きく変化していくと考えられます。



あれも？これも？じつは公共施設



その他 12.8%
 [図書館、高齢者福祉施設、障害福祉施設など]



公共建築物	
市営住宅 延床面積	128,427㎡
プラント施設 延床面積	14,636㎡
土木系インフラ	
道路延長	1,264,987m
橋りょう数	979橋
河川延長	205km
公園数	394箇所
公営企業が保有する公共施設	
病院 延床面積	35,182㎡
上水道導送配水管延長	1,231,815m
下水管延長	831,712m



ここがだいじ! 公共施設には多くの種類があり、その量は膨大です。その多くは老朽化が進んでおり、一般公共建築物のうち、築 30 年以上経過しているものは、47%あり改修が急がれます。



お金はだいじだよ



現在の規模で
公共施設を保有
しつづけるためには、
年間 30 億円も
不足すると
見込まれているわ。



項目		想定年間 更新費用	過去5年間の 平均更新費用	更新費の 不足額
一般公共建築物		47億円	31億円	16億円
市営住宅 及び土木インフラ	市営住宅	8億円	2億円	6億円
	道路	18億円	13億円	5億円
	橋りょう	6億円	3億円	3億円
	河川	7億円	7億円	—
	公園	1億円	1億円	—
	小計	40億円	26億円	14億円
合計		87億円	57億円	30億円

施設の更新
ってお金がかか
るんだなあ。



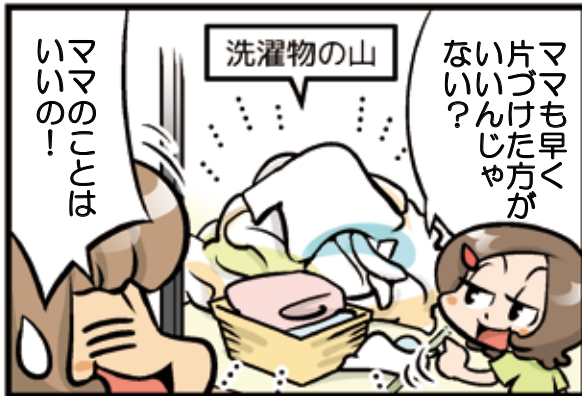
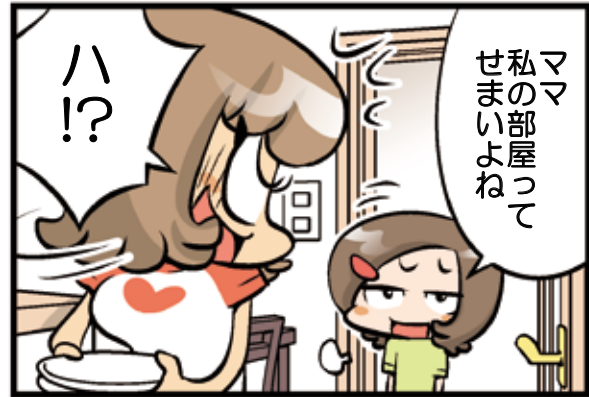
※ 上記のほか、プラント施設の更新費用が年間6億円見込まれますが、過去の更新費用との比較が困難なため、表からは除いています。

ここがだいじ!

市が保有する施設を現状の総量のまま適切に更新しようとした場合、年間30億円もの金額が不足すると見込まれています。上記の公共施設以外にもプラント施設（ごみ処理施設、生活排水処理施設）までを含めると、想定年間更新費用は 93 億円となり、さらに不足額が増えることが予想されます。しかし、道路の建設など、施設の新規整備については将来的にも一定の必要性があるので、更新費用の抑制が重要となってきます。



整理整頓のススメ（公共施設編）



ここからは、富士市の公共施設をこれからどうしていったらいいか考えていくわ。まず、必要な公共サービスを見極めて適正な施設規模へ見直すことが必要ね。



公共施設マネジメント推進方策

原則1 公共サービスの提供方法を見直し、保有建築物の総量を削減します

方策1-1 将来的なニーズを的確に把握し、建築物の総量の適正化を図ります
あるべき公共サービスの質、量を見極め、施設更新時に統廃合、複合化等を進めます

方策1-2 民間で提供可能なサービスは民間に委ねます
民間が提供可能なサービスは民間に移管し、建築物も民間に売却または譲渡することを検討します

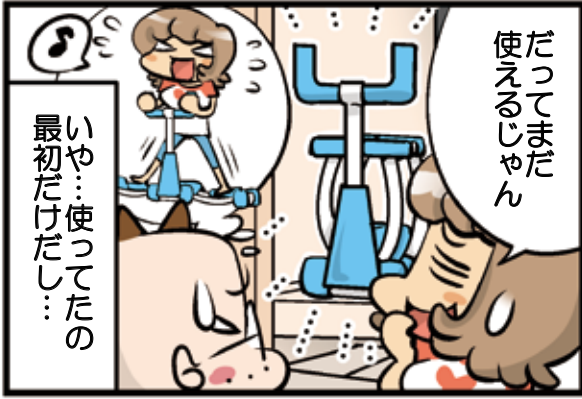
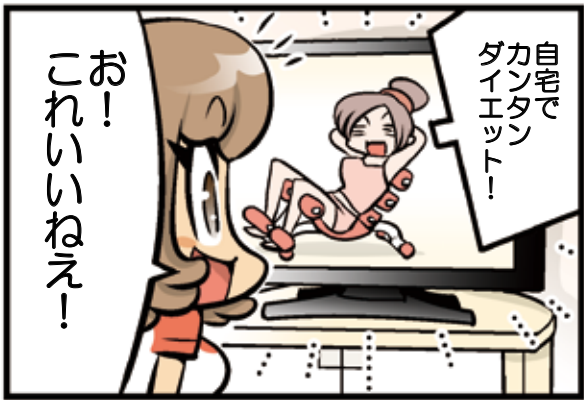
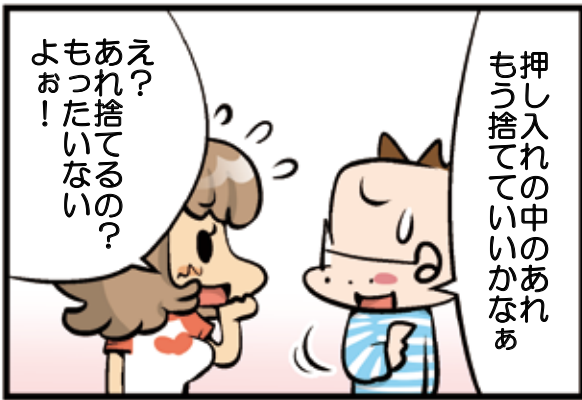
方策1-3 市単独での施設整備から広域的な施設利用に転換します
周辺市と共同で施設を整備、保有していくことも検討します

ここがだいじ!

公共施設は、市民共通の財産ですので、むやみに減らすことはしません。その施設で提供する行政サービスが今後も必要なものか精査し、不要なものは削減を検討します。また、必要なサービスであっても、施設の複合化、多機能化、民間サービスの活用など、より効果的で効率的な提供方法を検討することで、段階的に施設保有量を見直していきます。



買いかえ？NO!!モッタイナイ!



これからも活用する
公共施設については
きちんと管理して
長持ちさせることで
コストが
縮減できるの。

そのためには、
老朽化が進む前に
こまめに点検や
修繕を行うことが
大事ですね。



公共施設マネジメント推進方策

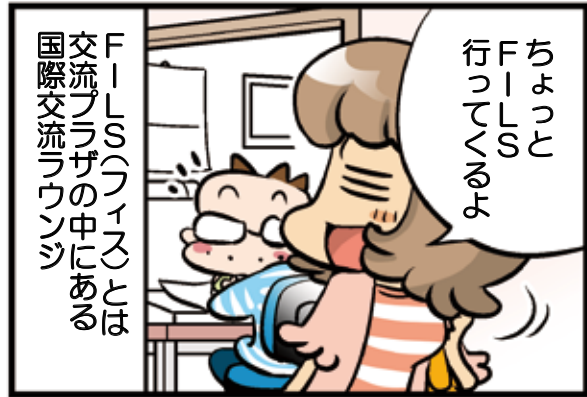
- 原則2** 一般公共建築物の維持管理手法を最適化し、ライフサイクルコストを縮減します
- 方策2-1** 一般公共建築物の長寿命化を推進します
予防保全の手法により、老朽化が進行する前に適切な修繕を行い、費用を平準化します
 - 方策2-2** 一般公共建築物の計画的な保全体制を整備します
建築物の保全体制を一元化し、計画的な維持修繕を行います
 - 方策2-3** 民間活力の導入により一般公共建築物の更新費用及び維持管理費用を縮減します
建築物更新時に民間の資金、ノウハウを活用することなどでコストを削減します

ここがだいじ!

これまで、富士市の公共建築物の多くは、建築物が寿命を迎えたからというより、時代における社会的な要求の変化により40年程度で建て替えられてきました。今後は、予防保全の考え方のもと、建築物の老朽化が進行する前に適切な修繕を行ったり、サービスの変化に応じて必要な改修を行ったりすることで、建築物を長く大切に使うことでコストを縮減します。



ほんとうに便利な施設とは？



これまで、ほとんどの公共施設は使いみちが限られていたわ。けれども、これからは施設の有効活用を考え、みんなが使いやすく、集まりやすい魅力ある施設にしていくことが大切ね。



公共施設マネジメント推進方策

原則3 一般公共建築物の資産価値を最大限引き出すために、効果的に利活用していきます

方策3-1 施設の潜在的な魅力を引き出せるよう、最大限有効活用を図ります

施設の持つあらゆる要素を検討した上で、複合化、多機能化を図ることにより、効率的なサービス提供を行います。また、公共サービスを集約することで地区の拠点を形成していきます

方策3-2 一般公共建築物を資産として捉え、効果的な運用により利益を生み出します

施設の統廃合により建築物等に余剰が生じた場合は、貸付、売却等、効率的な運用を行います

ここがだいじ!

公共施設の複合化、多機能化を図ることは、単に施設を統合することで施設を減らしていくためだけではありません。一つの施設でさまざまなサービスを提供することで、市民の利便性を向上したり、市民が集う拠点づくりにつながったりすることが考えられます。そして、将来世代に過度の負担を残さない財政運営の実現を進めます。

